

データヘルス計画

第2期計画書 中間見直し

最終更新日：令和3年03月30日

キタムラ健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	88072
組合名称	キタムラ健康保険組合
形態	単一
業種	飲食料品以外の小売業

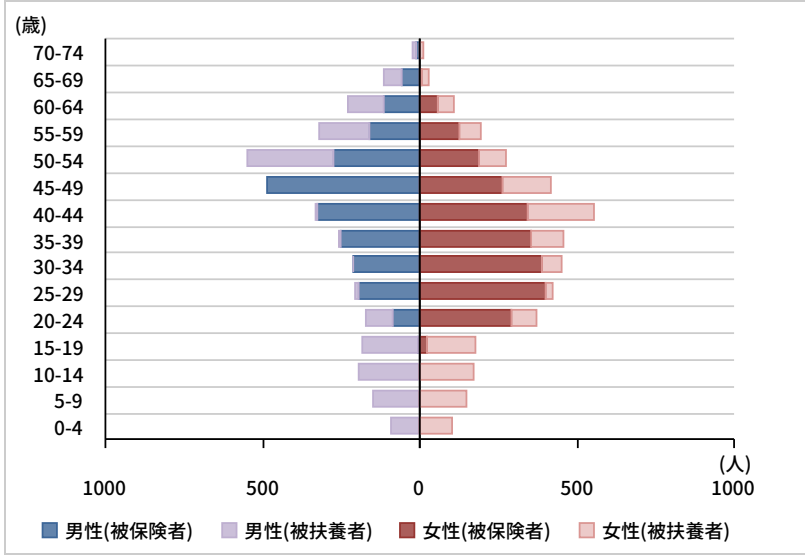
	令和3年度見込み	令和4年度見込み	令和5年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	4,380名 男性46.4% (平均年齢43.4歳) * 女性53.6% (平均年齢37.1歳) *	4,361名 男性45.43% (平均年齢44.26歳) * 女性54.57% (平均年齢37.26歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	-名	0名	-名
加入者数	6,450名	6,815名	-名
適用事業所数	7カ所	7カ所	-カ所
対象となる拠点数	1,000カ所	1,000カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	100%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-
事業主	産業医	0	1	0	5	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-

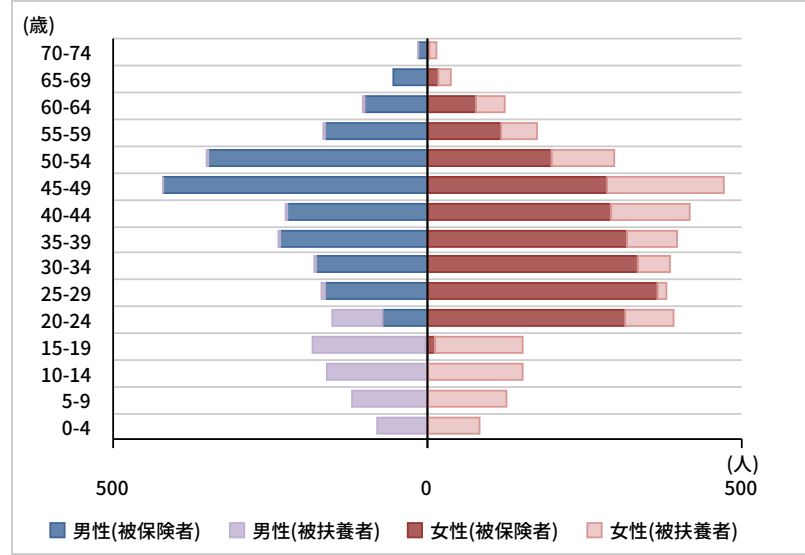
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	2,111 / 2,648 = 79.7 %	
	被保険者	1,748 / 2,092 = 83.6 %	
	被扶養者	363 / 556 = 65.3 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	6 / 415 = 1.4 %	
	被保険者	5 / 379 = 1.3 %	
	被扶養者	1 / 36 = 2.8 %	

		令和3年度見込み		令和4年度見込み		令和5年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	17,810	4,066	16,880	3,871	-	-
	特定保健指導事業費	2,558	584	3,147	722	-	-
	保健指導宣伝費	4,684	1,069	4,535	1,040	-	-
	疾病予防費	93,665	21,385	95,791	21,965	-	-
	体育奨励費	-	-	0	0	-	-
	直営保養所費	-	-	0	0	-	-
	その他	1	0	1	0	-	-
	小計 …a	118,718	27,105	120,354	27,598	0	-
	経常支出合計 …b	1,649,364	376,567	1,668,033	382,489	-	-
	a/b×100 (%)	7.20		7.22		-	

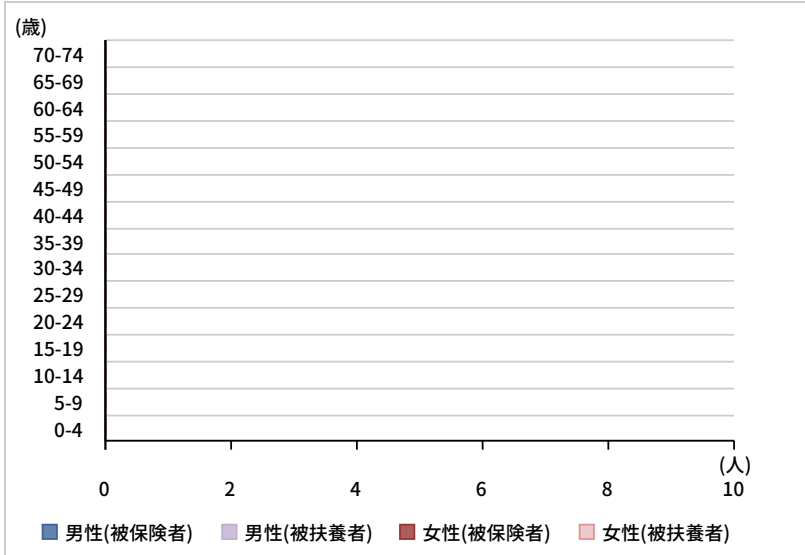
令和3年度見込み



令和4年度見込み



令和5年度見込み



男性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	3人	10～14	0人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	85人	25～29	192人	20～24	72人	25～29	164人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	212人	35～39	250人	30～34	178人	35～39	234人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	326人	45～49	484人	40～44	223人	45～49	419人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	274人	55～59	161人	50～54	348人	55～59	163人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	115人	65～69	55人	60～64	101人	65～69	53人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	13人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	-人	5～9	-人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	-人	15～19	24人	10～14	0人	15～19	10人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	291人	25～29	401人	20～24	314人	25～29	365人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	391人	35～39	352人	30～34	334人	35～39	316人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	344人	45～49	263人	40～44	291人	45～49	285人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	187人	55～59	127人	50～54	198人	55～59	116人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	58人	65～69	8人	60～64	77人	65～69	16人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	2人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	92人	5～9	146人	0～4	80人	5～9	119人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	194人	15～19	179人	10～14	159人	15～19	179人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	86人	25～29	9人	20～24	81人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2人	35～39	4人	30～34	2人	35～39	4人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	0人	40～44	3人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	274人	55～59	161人	50～54	3人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	115人	65～69	55人	60～64	4人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	13人			70～74	1人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和3年度見込み				令和4年度見込み				令和5年度見込み			
0～4	100人	5～9	147人	0～4	82人	5～9	125人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	173人	15～19	156人	10～14	150人	15～19	140人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	79人	25～29	24人	20～24	78人	25～29	13人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	62人	35～39	103人	30～34	52人	35～39	80人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	210人	45～49	157人	40～44	125人	45～49	187人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	87人	55～59	70人	50～54	99人	55～59	58人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	49人	65～69	23人	60～64	46人	65～69	21人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	12人			70～74	11人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

1. 小規模な健保組合である
2. 事業主の拠点（店舗、営業所など）が全国にあり、加入者が少人数ずつ点在している（拠点数は概数）
3. 被保険者の割合は女性が多く、平均年齢は男性が6歳高い
4. 当健保組合には医療専門職が不在である

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

1. 健康診断は、原則5月から翌1月の間、事業主と共同で実施している
2. 人間ドック（日帰り）、生活習慣病予防健診対象者の内40才以上の者については、特定健診も同時実施としている
3. 健診受診後については、健保組合専任の保健師がいないものの、健保連共同設置保健師のサポートにより、要治療・要精密検査の者を中心に、文書による指導をしている
4. 事業所が全国に分散しており、少人数毎多数の健診機関を利用することから、健保組合と健診機関の連携が取り辛い環境である
5. 予約の遅延等により、期日内に受診しないケースや未受診が発生しているが、健康状態の把握と早期発見・早期治療の為、受診率の更なる向上が最優先課題である
6. 事業所の形態上、個別連絡が取り辛く、保健指導や健康情報の提供、制度周知の為、社内イントラネット、広報誌等、各種媒体の有効活用が必要である

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	健康診断に関するチラシの配布
保健指導宣伝	健康保険制度に関する冊子の配布
保健指導宣伝	医療費のお知らせ
保健指導宣伝	健康保険制度に関するパンフレットの配布
保健指導宣伝	健康診断に関するパンフレットの配布

個別の事業

特定健康診断事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	健康結果に応じた資料の配布
保健指導宣伝	育児全書の配布
保健指導宣伝	前期高齢者対策
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	ホームページの公開
保健指導宣伝	定期健康診断受診票の配布
保健指導宣伝	糖尿病重症化予防
保健指導宣伝	禁煙対策
疾病予防	人間ドック（日帰り）
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	乳がん・子宮がん健診
疾病予防	保健指導通知
予算措置なし	健康セミナー・個別面談

事業主の取組

1	定期健康診断
2	特定業務従事者の健康診断

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	機関誌発行	【目的】 組合活動の周知及び保健医療等の啓蒙 【概要】 『健保だより』を配布（年4回）	被保険者	全て	男女	0～74	全員	3,246	4月、7月、10月、12月に配布 ホームページにバックナンバーを掲載 <平成29年度> 配布部数：5,340部（1回平均）	受診率向上の為、健診に関する記事を繰り返し掲載 インフルエンザ予防など、季節に応じた記事を選定して掲載 予算・決算の他、健保組合の状況を説明	購読の促進	4
	-	健康診断に関するチラシの配布	【目的】 健康診断の目的の啓蒙 【概要】 健診受診者にチラシを配布（随時）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	32	健診結果受付け後、随時配布 <平成29年度> 配布人数：約3,780名 ※前年度在庫を使用	健診結果の取扱いなどを、分かりやすく整理している	一部、健診結果の到着遅れなどにより、送付が遅れた	4
	5	健康保険制度に関する冊子の配布	【目的】 健康保険制度の周知 【概要】 新入社員に『社会保険の知識』を配布（毎年3月）	被保険者	全て	男女	18～25	基準該当者	10	<平成29年度> 配布人数：24名	健康保険制度等の周知の為、新入社員研修で配布	資料の見直し	4
	5	医療費のお知らせ	【目的】 医療費や保険給付内容の通知と確認 【概要】 『医療費のお知らせ』を配布（毎月）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	425	<平成29年度> 配布人数（1ヶ月平均）：約2,590名	毎月のお知らせを継続 様式に、ジェネリック、ホームページ等の情報を掲載して周知	受け取り後の活用状況が不明	4
	5	健康保険制度に関するパンフレットの配布	【目的】 健康保険制度の周知 【概要】 被保険者証送付時に『健康保険なるほどガイド』を同封（随時）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	0	<平成29年度> 配布人数：約970名 ※前年度在庫を使用	健康保険制度等の周知の為、被保険者・被扶養者の資格取得時等、被保険者証交付時に配布	法改正等による、記載内容の見直し	4
	-	健康診断に関するパンフレットの配布	【目的】 健診結果の活かし方の啓蒙 【概要】 健診受診者にパンフレットを配布（随時）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	0	健診結果受付け後、随時配布 <平成29年度> 配布人数：約3,070名	健診結果の見方や活かし方を啓蒙	毎年送付するため、資料の見直しが必要	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健診	【目的】 特定健診の受診率向上（健康状態の把握による疾病の予防及び早期発見） 【概要】 被保険者は事業主の定期健診及び健康保険組合の生活習慣病予防健診・人間ドック（日帰り）と併せて実施。被扶養者の内配偶者は被保険者と同様に健康保険組合の生活習慣病予防健診・人間ドック（日帰り）と併せて実施。その他の被扶養者は、契約医療機関で受診	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	18,236	<平成29年度> 対象者数：2,870名 受診者数：2,301名 受診率計：80.2% 被保険者：83.9% 被扶養者：65.8%	医療機関への協力依頼（電子媒体の送付など）の継続により、データ回収の効率と回収率が向上した	受診率の向上。実績報告までに未回収と不備データの解消	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	【目的】 特定保健指導の実施率向上 【概要】 生活習慣病予防健診・人間ドック（日帰り）を受診した健診機関に委託して実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	26	<平成29年度> 動機付け支援 対象者数：201名 実施者数：6名 実施率：3.0% 積極的支援 対象者数：248名 実施者数：0名 実施率：0.0% 合計 対象者数：449名 実施者数：6名 実施率：1.3%		実施率が低すぎる 医療機関への委託など、特定保健指導を利用できる体制が不十分 特定保健指導の制度・意義の周知不足	1
保健指導宣伝	4	健康結果に応じた資料の配布	【目的】 健診結果による有所見項目の改善と重症化予防 【概要】 有所見項目に応じた資料（パンフレット）を配布（随時）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	121	健診結果受付け後、所見に応じて随時配布 <平成29年度> 配布人数：約1,090名	定期的に資料の見直しを実施	一部、健診結果の到着遅れなどにより、送付が遅れた	3
	5	育児全書の配布	【目的】 育児情報の提供 【概要】 『赤ちゃん・子ども病気百科』を配布（第一子出産時）	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	基準該当者	98	<平成29年度> 配布人数：68名	育児の参考の為、書籍を選定して配布	本人購入との重複	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	5	前期高齢者対策	【目的】高齢者の健診促進と疾病予防 【概要】前年度健診未受診者の内50才以上の者に、健診に関するチラシと広報誌『いきいきライフ』を配布(年1回)	被保険者被扶養者	全て	男女	50～74	基準該当者	0	資料の見直しがなく、同じ人と同じ資料を送ることになるため、平成29年度は実施しなかった		対象者と資料の見直し	1
	8	ジェネリック差額通知	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進 【概要】ジェネリック医薬品のお知らせ(差額通知)を配布(年2回)	被保険者被扶養者	全て	男女	20～74	基準該当者	216	<平成29年度> 配布人数(1回平均):約110名	平成28年度より、差額基準を3ヶ月300円以上から6ヶ月2,000円に変更。効果は変わらず、委託費用と処理の軽減ができた 年2回通知は継続し、社内イントラで全体案内することにより、通知対象者以外への周知も期待できる	差額通知以外の要因もあり、効果が測り辛い	4
	2	ホームページの公開	【目的】健康保険制度や健康情報の提供 【概要】健康保険制度や健康情報の他、各種手続きに必要な情報を『キタムラ健康保険組合ホームページ』に公開	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	0	*事業費は事務所費に計上	広報誌等により、閲覧を促している 随時修正し、見やすさと機能の向上に努めている	閲覧・利用件数を更に増やす為の周知内容の更なる充実	4
	3	定期健康診断受診票の配布	【目的】定期健康診断の円滑な実施 【概要】所定の受診票・結果通知書がない健診機関で定期健診を実施する店所に配布	被保険者	一部の事業所	男女	0～34	基準該当者	143	<平成29年度> 配布対象店所:約330店所 配布部数:約2,320部(予備を含む) *前年度在庫を使用	定期健康診断を円滑に実施する為、様式(表紙の説明など)を一部見直した	検査項目の徹底	4
	4	糖尿病重症化予防	【概要】生活習慣病1位の「糖尿病」に着目し、行動変容や早期治療を促すための保健指導を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	35	<平成29年度> 配布人数:80名 *前年度在庫を使用	前年度健診実績により基準該当者(HbA1c:6.5以上)を抽出 該当者の抽出と保健指導のためのデータ整備 適切な資料(パンフレット)の選定	関連データの活用と運用のシンプル化 対象者の増減と経年管理	3
	5	禁煙対策	【目的】喫煙による健康被害の防止 【概要】ホームページ、チラシ等による情報提供と啓蒙(関連パンフレットを配布)	被保険者被扶養者	全て	男女	20～74	全員	38	<平成29年度> 配布人数:約3,640名	パンフレットの内容を「受動喫煙」とし、喫煙者以外にも配布	喫煙者への禁煙促進	3
疾病予防	3	人間ドック(日帰り)	【目的】健康状態の把握と早期発見・早期治療 【概要】45歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、事業主の法定健診と同時に実施	被保険者被扶養者	全て	男女	45～74	全員	37,422	<平成29年度> 対象者数:1,665名 受診者数:1,400名 受診率:84.1%	事業主と連携し、法定健診と同時に実施 平成28年度から、対象を45歳以上の希望者から45歳以上(原則)全員に変更した 健保連保健師のサポートによる文書指導で、特に要再検査・要精密検査を重点的に後押ししている	健診受診の早期化と期日内受診の徹底 健診後の再検査・精密検査をより促すこと	4
	3	生活習慣病予防健診	【目的】健康状態の把握と早期発見・早期治療 【概要】35歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、事業主の法定健診と同時に実施	被保険者被扶養者	全て	男女	35～74	基準該当者	25,600	<平成29年度> 対象者数:1,894名 受診者数:1,531名 受診率:80.8%	事業主と連携し、法定健診を兼ねて実施 健保連保健師のサポートによる文書指導で、特に要再検査・要精密検査を重点的に後押ししている	受診率の向上 健診受診の早期化と期日内受診の徹底 健診後の再検査・精密検査をより促すこと	4
	3	乳がん・子宮がん健診	【目的】健康状態の把握と早期発見・早期治療 【概要】35歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、事業主の法定健診と同時に実施	被保険者被扶養者	全て	女性	35～74	基準該当者	8,457	<平成29年度> 対象者数:1,874名(健診受診者:1,528名) 受診者数:1,115名 受診率:59.5%(73.0%)	人間ドック、生活習慣病予防健診対象者の内、希望者を対象に、乳がん・子宮がん健診を実施(乳がん健診は超音波検査又はマンモグラフィーいずれか)	被扶養者(配偶者)の受診率の向上	2
	4	保健指導通知	【目的】健診結果が受診勧奨領域にある者に早期受診を促す 【概要】健診結果により対象者を選定し、保健指導通知を作成して送付する	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	0	<平成29年度> 通知者数:約1,090名 *費用は通知様式の印刷のみ	保健指導内容を記載しやすいように様式を変更し、レベルに応じて区別した(3種類)	健診結果の到着状況により、確認件数の偏りや送付の遅延が発生している	3
予算措置なし	6	健康セミナー・個別面談	【目的】加入者の生活習慣病予防と健康保持増進の為 【概要】健保連高知連合会と共同して開催(年2回、2事業所)	被保険者	一部の事業所	男女	0～74	基準該当者	0	健診結果による有所見者を中心に対象者を選定し、健康セミナーと個別面談を実施 <平成29年度>(1事業所) セミナー参加:30名個別面談:15名	実施にあたり、健保連高知連合会、対象事業所等が協力的である 受講者にも比較的好評である 対象に限られるが、スペースや日程上、人数は概ね妥当である	参加者の選定 業務都合の調整 対象事業所の展開	4

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

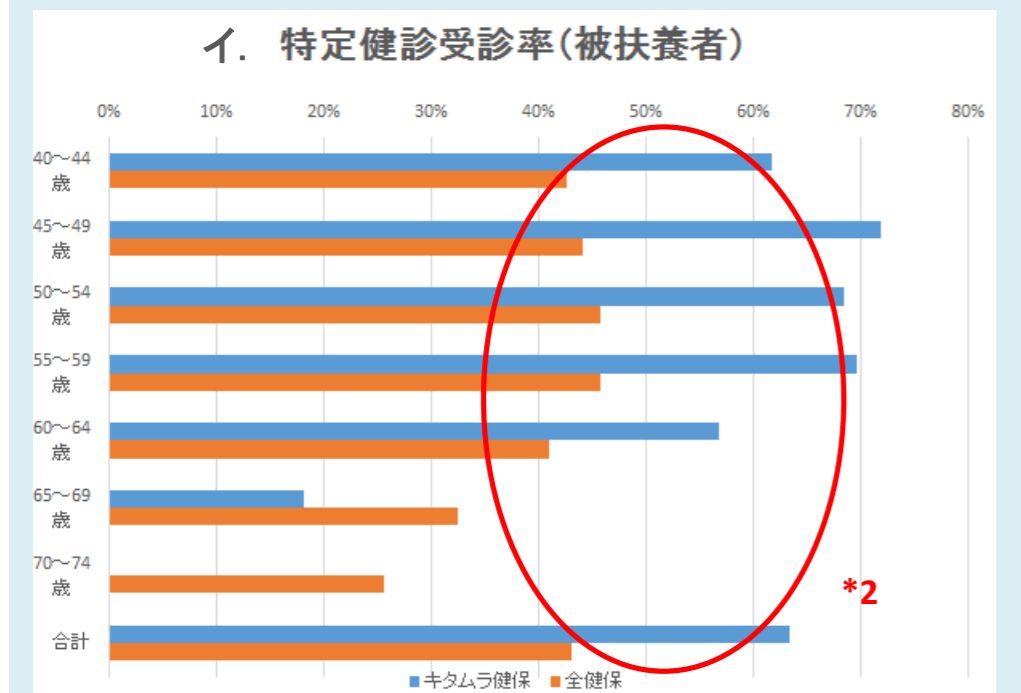
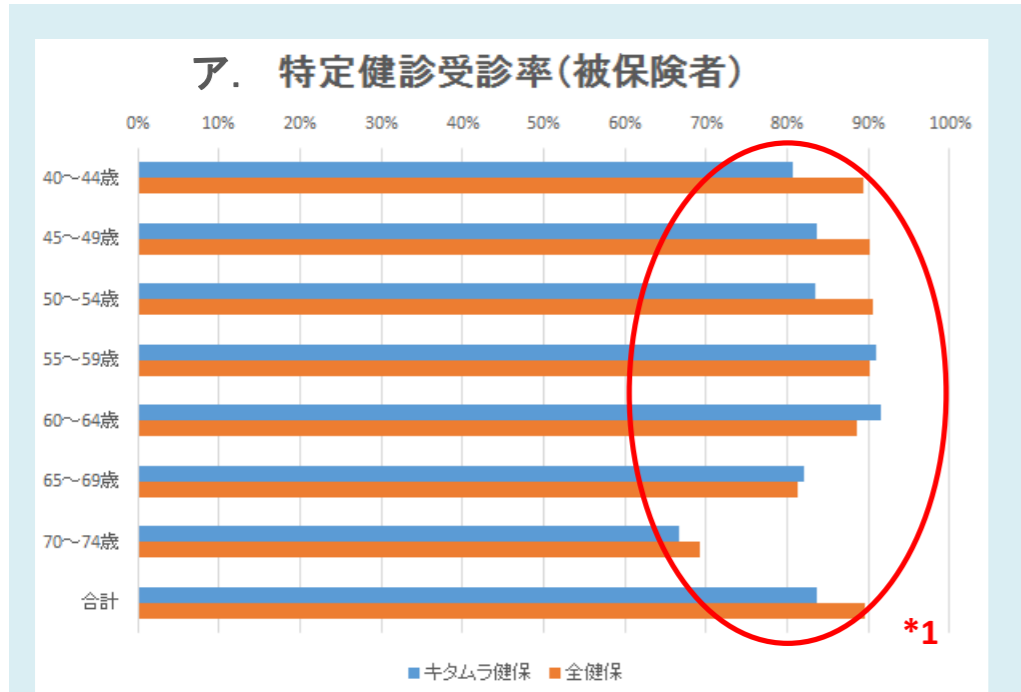
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	<p>【目的】 職場における従業員の安全と健康の確保の為</p> <p>【概要】 労働安全衛生法に基づき実施。健康保険組合が実施する生活習慣病予防健診・人間ドック（日帰り）の対象者は、同時に実施（年1回）</p>	被保険者	男女	0 ～ (上 限 なし)	全従業員（短時間パートを含む）を対象とし、原則5月から翌1月の間、健保組合と共同で実施 テナント店は、主にショッピングセンターのバス健診を利用	健康診断の受診を促す為、年3～4回、社内イントラネットによりお知らせ 12月時点で未実施の事業所には、個別メールで督促	受診率の更なる向上 健診受診の早期化と期日内受診の徹底 人間ドック・生活習慣病予防健診と同時実施した場合の、情報共有の制限	有
特定業務従事者の健康診断	<p>【目的】 深夜業を含む業務に従事する従業員の安全と健康の確保の為</p> <p>【概要】 深夜業を含む業務に従事する従業員に対し、労働安全衛生法に基づき実施（6月以内ごとに1回）</p>	被保険者	男女	0 ～ 74	深夜勤務従事者を対象に実施	定期的に深夜勤務従事者を調べ、対象事業所に案内	対象者と対象事業所が一定でない	有

STEP 1-3 基本分析

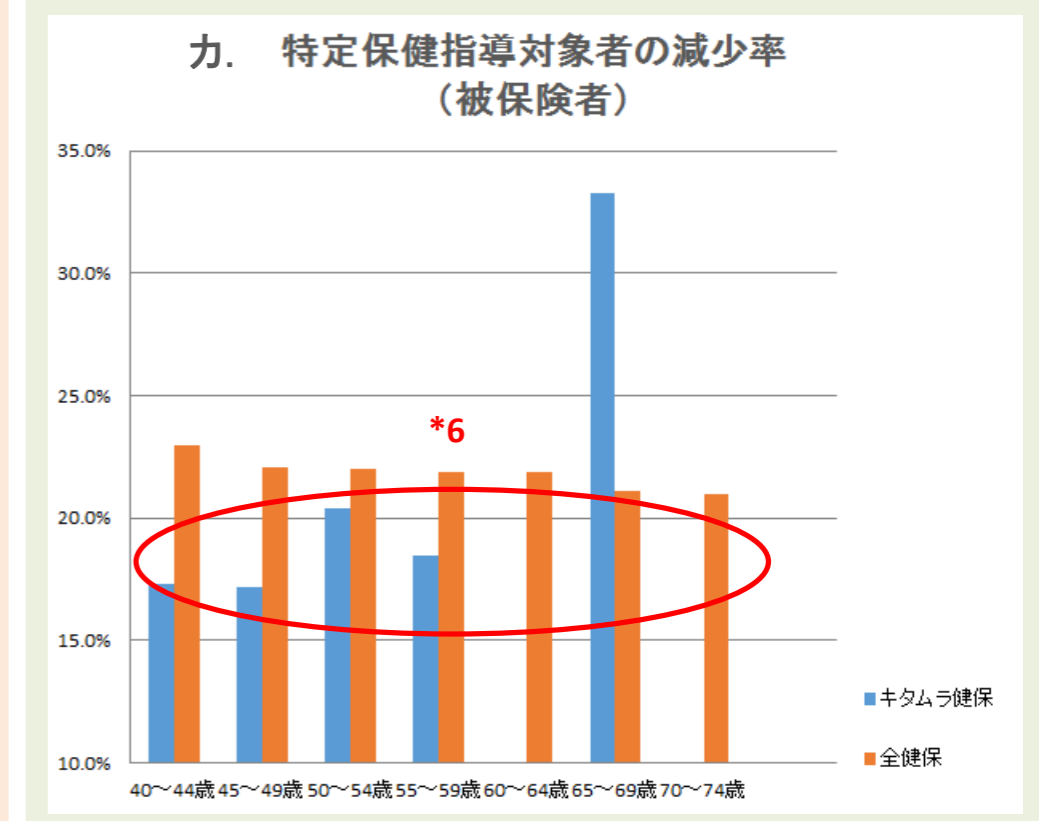
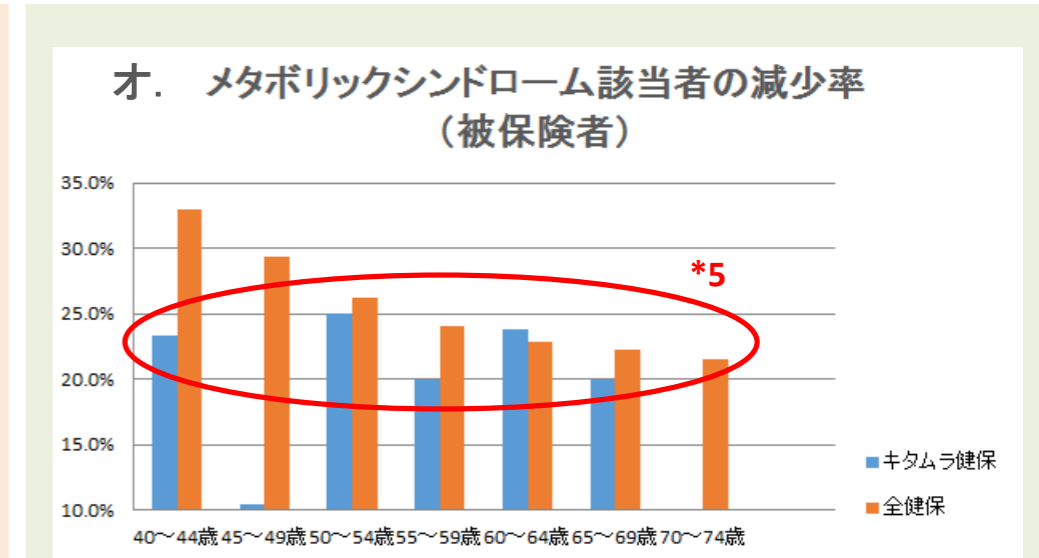
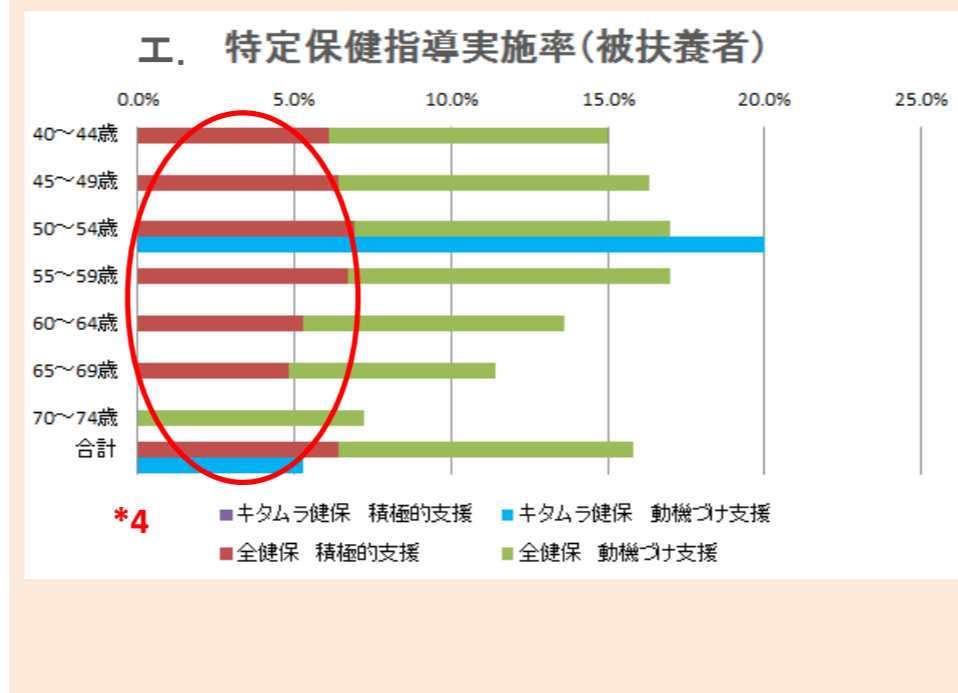
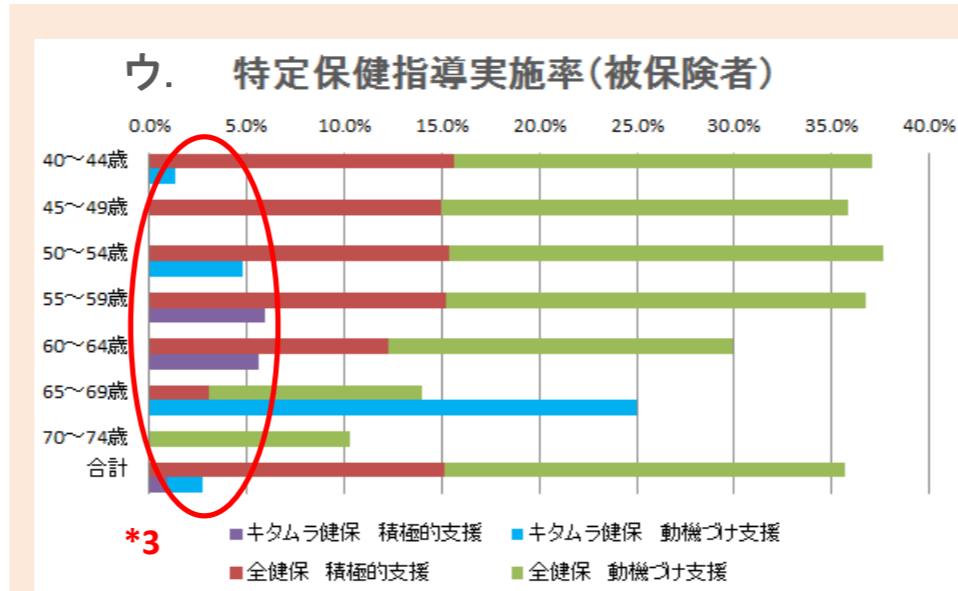
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・特定保健指導の実施状況等	特定保健指導分析	ア. 被保険者の特定健診受診率は、40歳代が若干低い(*1) イ. 被扶養者の内、35歳以上の配偶者は、生活習慣病予防健診・人間ドックを受診し、特定健診受診率に連動している(*2) ウ. エ. 特定保健指導実施率は、被保険者・被扶養者とも低すぎる状況であり、対策を必要としている(*3) (*4) オ. カ. 特定保健指導実施率が低いため、メタボリックシンドローム該当者等の減少につながっていない(*5) (*6)
イ		医療費の状況	医療費・患者数分析	キ. 一人当たり医療費は、全般的に他の健保より低いものの、02.新生物、10.呼吸器系疾患が特に高くなっている(*1) ク. ケ. 生活習慣病に関わる疾病は、糖尿病、高血圧症が特に高く、経年でも同じ傾向である(*2) (*3)
ウ		健康分布図等	健康リスク分析	コ. ～ス. 男性・女性とも、肥満の内、「2.保健指導基準値以上」の割合が高い(*1) サ. ス. 女性の肥満の割合が、他の健保より高い(*2) セ. 「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、約250人存在する(*3) ソ. 喫煙状況は、男性は概ね減少している(*4) 一方、女性は増加している(*5)
エ		生活習慣病リスクと医療機関の受診状況等	健康リスク分析	タ. チ. 脳卒中/心疾患、糖尿病とも、受診勧奨基準値以上で服薬治療中の者が、一定数存在する(*1) タ. チ. 受診勧奨基準値以上で服薬治療を受けていない者が多数存在し、勧奨が必要である(*2) タ. チ. 保健指導判定値以上で特定保健指導終了者数が圧倒的に少なく、対策が必要である(*3)
オ		後発医薬品の使用状況	後発医薬品分析	ツ. 後発医薬品の使用割合は、他の健保より概ね高い(*1) テ. 一人当たりの調剤費は、他の健保と同等(*2)であるが、後発医薬品の薬剤費割合が高く(*3)、一定の効果が認められる

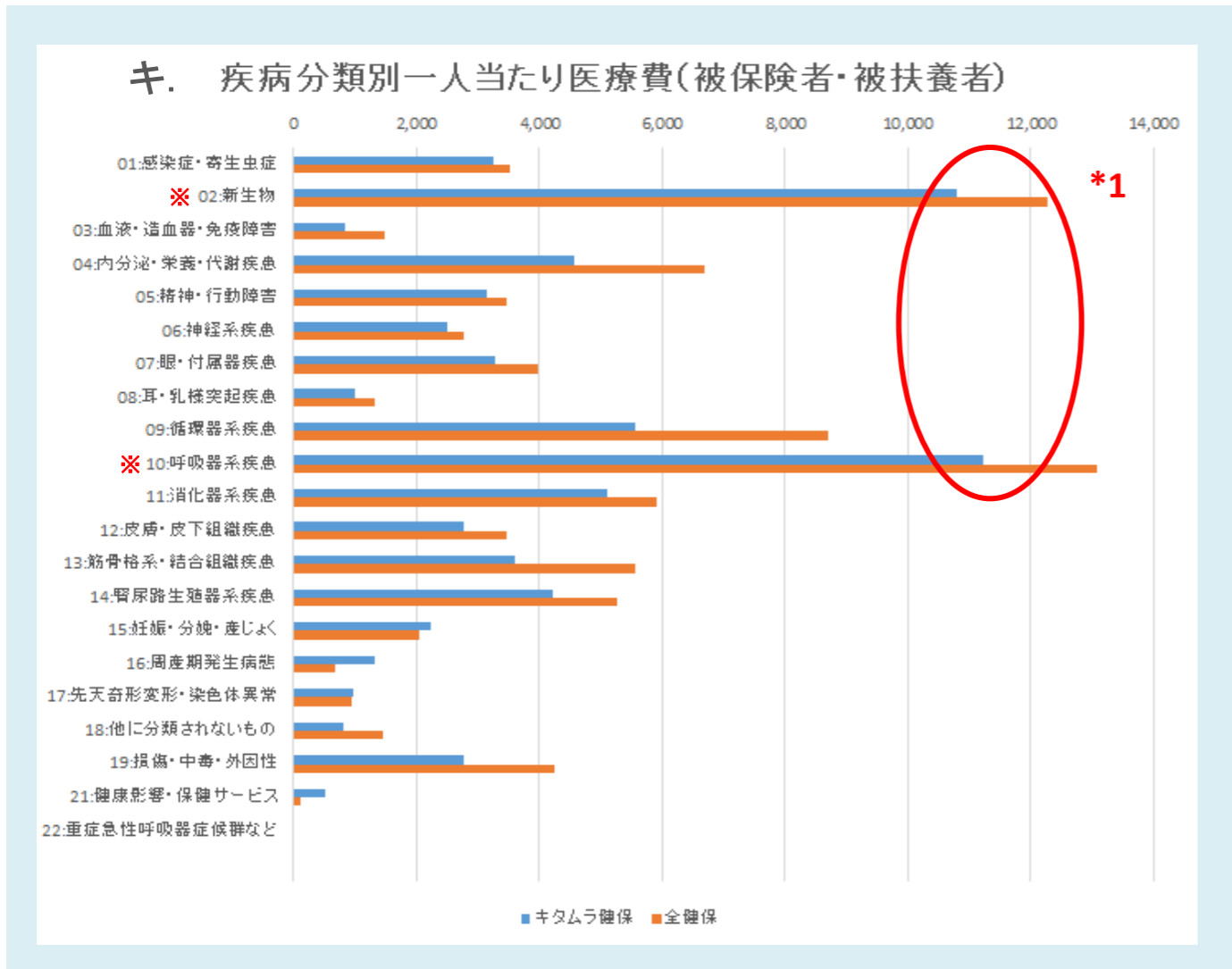
【特定健診受診率】



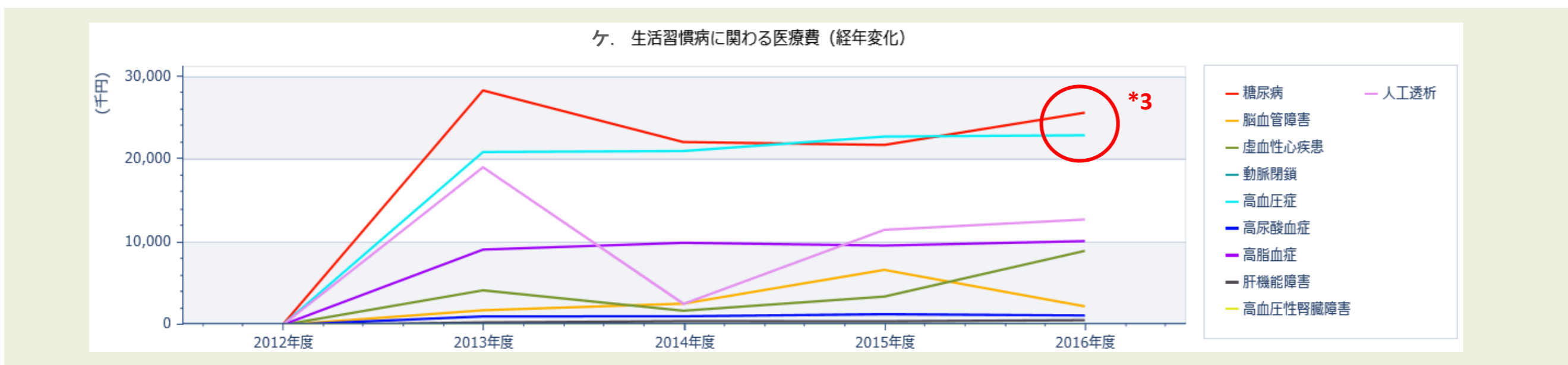
【特定保健指導実施率】



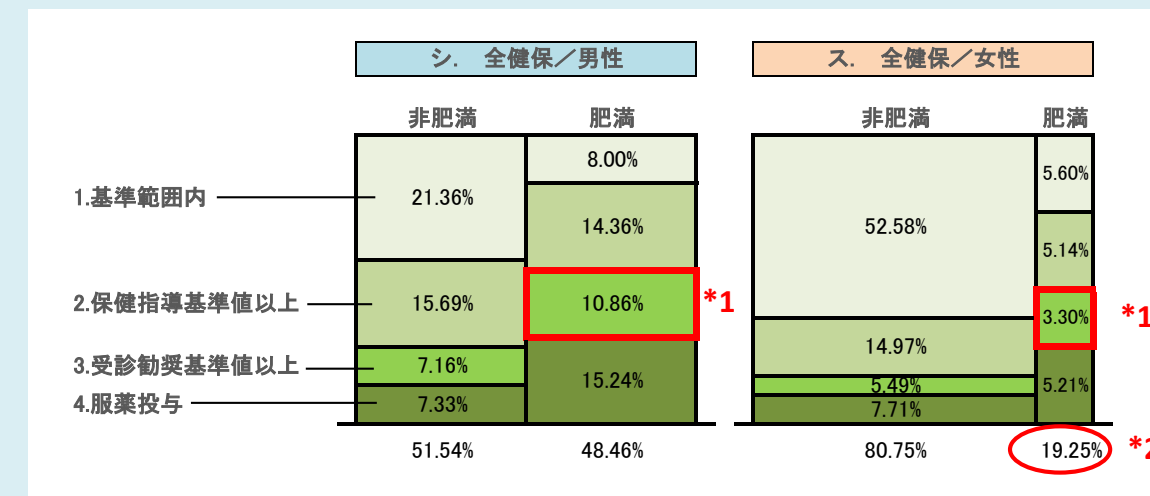
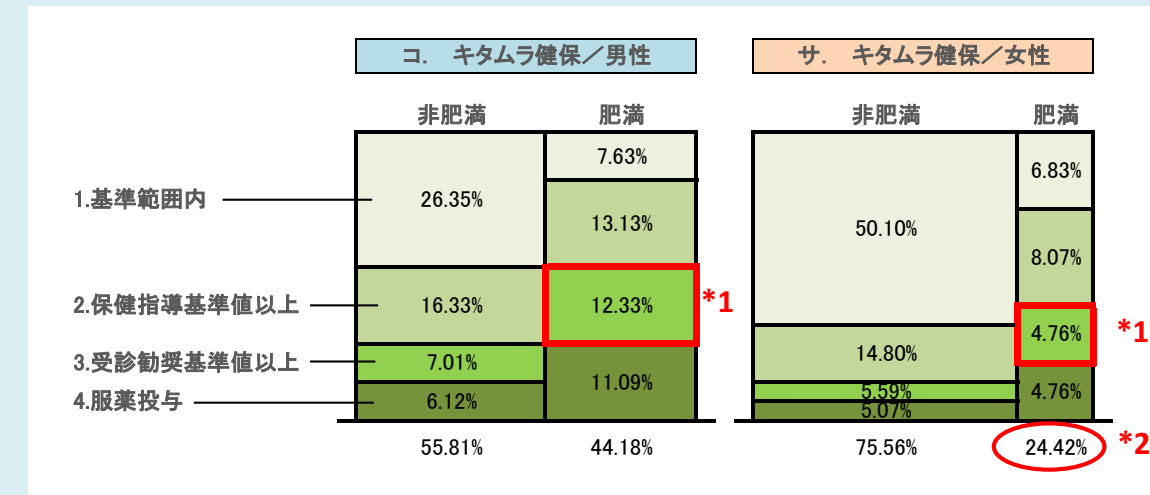
【一人当たり医療費】



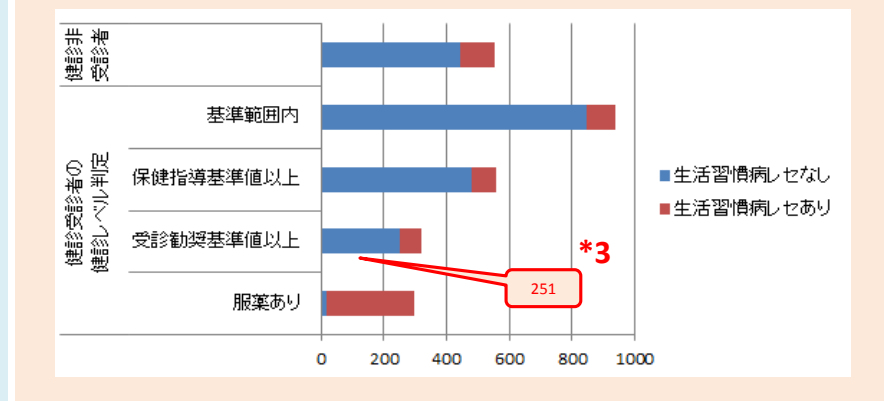
【生活習慣病に係わる疾病の一人当たり医療費】



【健康分布図】



セ. 生活習慣病健診レベル判定と医療受診状況



ソ. 喫煙状況(特定健診問診回答)

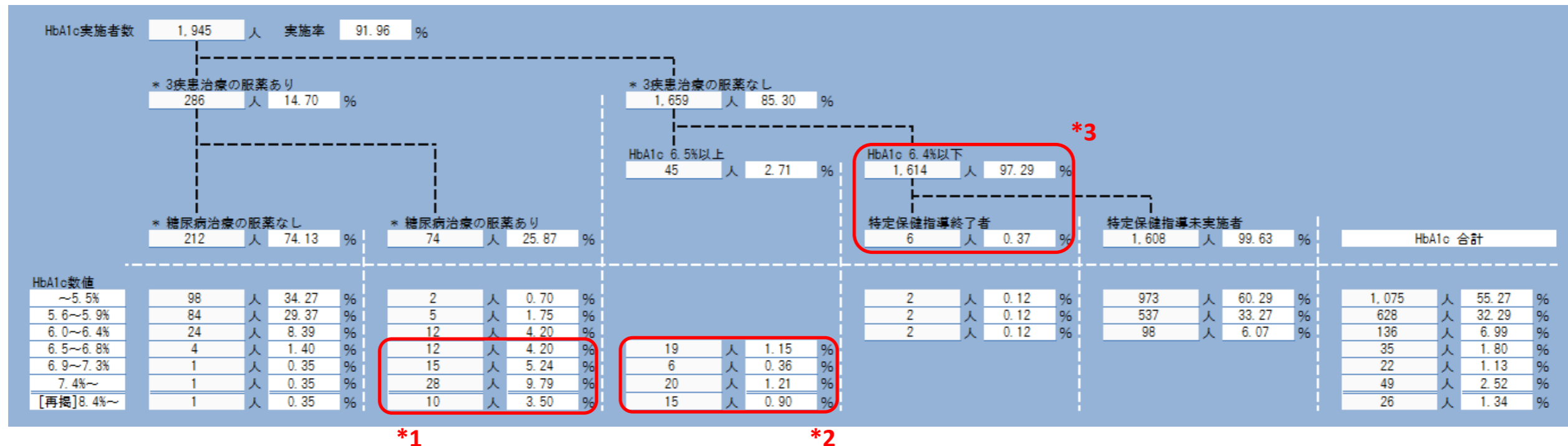


【リスクフローチャート】

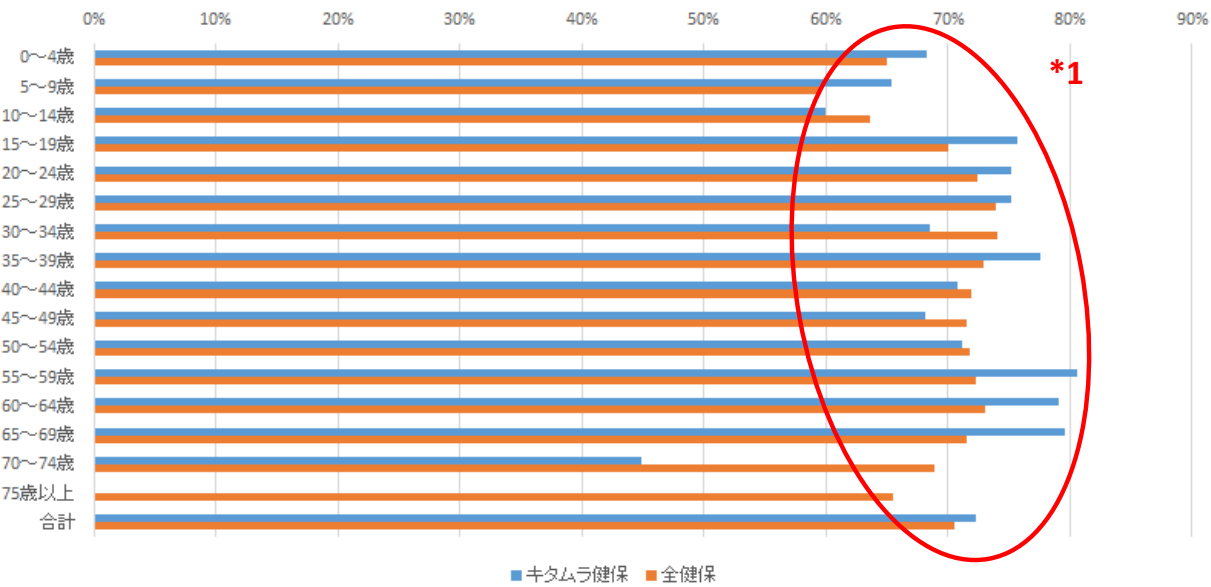
タ. 脳卒中／心疾患



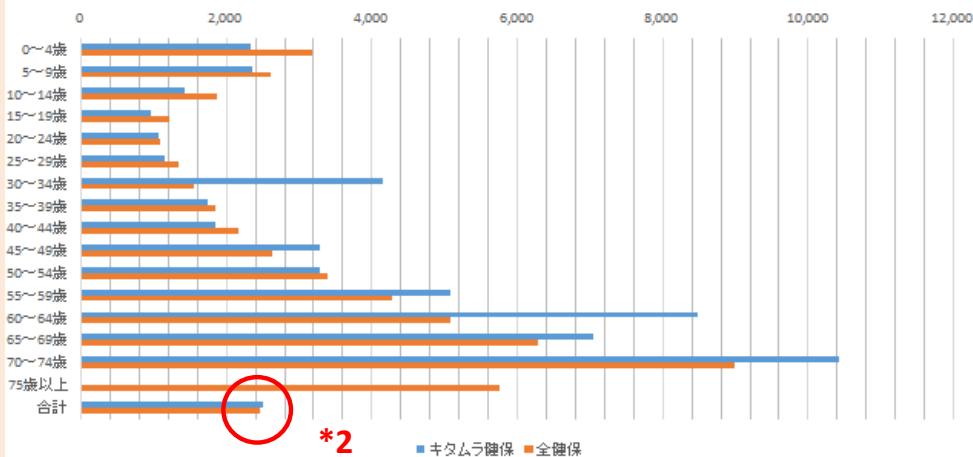
チ. 糖尿病



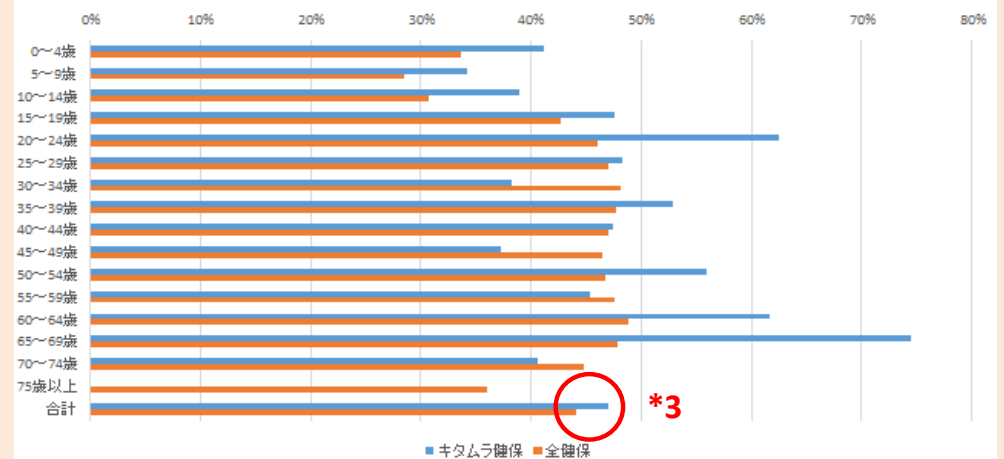
ツ. 後発医薬品 使用割合 (被保険者・被扶養者)



テ. 一人当たり調剤費 (被保険者・被扶養者)



ト. 後発医薬品 薬剤費割合 (被保険者・被扶養者)



STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	イ	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・健診全般（婦人科検診を含む）の受診率を上げる ・高リスク保有者を追跡管理する ・上記取り組みにおいて、事業主との連携を強化する 	✓
2	ウ, エ	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導の実施率を上げる ・糖尿病と高血圧症を重点課題とする ・上記取り組みにおいて、事業主との連携を強化する 	✓
3	ウ	・喫煙者は、男性より女性が増加している	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙を含め、禁煙対策を推進する 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・小規模な健保組合であるが、事業主の拠点（店舗、営業所など）が全国にあり、加入者が少人数ずつ点在している	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者や健診機関と連絡が取り辛い、文書等の工夫やわかりやすさが課題となる
2	・被保険者の割合は女性が多く、平均年齢は男性が6歳高い	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・35歳以上の生活習慣病健診・人間ドック・婦人科検診は、被扶養者（配偶者）を含めた受診率の向上が課題となる
3	・当健保組合には医療専門職が不在である	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導のほか、専門知識が必要なことは、健保連共同設置保健師等の意見を聞く ・事業主、産業医と連携し、事務職でもできることを工夫する

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断は、事業主との共同で、全国の健診機関で実施している ・法定健診と生活習慣病予防健診・人間ドック、特定健診を同時に実施している ・健診後の保健指導（特定保健指導以外）は、健保連共同設置保健師の文書指導が中心である ・特定保健指導は、一部の健診機関と専門業者に委託している 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の未受診対策を強化する ・特定保健指導の実施率を上げる ・事後措置を含めた健診事業全般において、事業主・産業医・健保連共同設置保健師との連携を整備し、効果を上げる
2	・その他の保健事業は、各種リーフレット等による情報提供が中心である	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの選定や配布時期など、効果を意識した取り組みを実施する

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・従業者の健康増進と重症化予防、医療費低減を目的とする
- ・対策の一つとして、糖尿病と高血圧症に重点を置く
- ・健診受診率の向上、適切な保健指導、高リスク者への受診勧奨に取り組む

事業全体の目標

- ・事業主との連携を強化し、健診事業全般の目標値を達成する
- ・その一つとして、特定健診・特定保健指導の実施率を上げる

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健診事業における事業主との連携
--------	-----------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費のお知らせ
保健指導宣伝	機関誌発行
保健指導宣伝	健康診断に関するパンフレットの配布
保健指導宣伝	定期健康診断受診票の配布
保健指導宣伝	健康保険制度に関するリーフレットの配布
保健指導宣伝	健康保険制度に関する冊子の配布
保健指導宣伝	ホームページの公開

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	重症化予防（糖尿病）
保健指導宣伝	重症化予防（高血圧）
保健指導宣伝	禁煙対策
保健指導宣伝	ジェネリック差額通知
保健指導宣伝	育児全書の配布
保健指導宣伝	前期高齢者対策
疾病予防	人間ドック（日帰り）
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	乳がん・子宮がん検診
疾病予防	健診結果の説明
疾病予防	保健指導通知
予算措置なし	健康セミナー・個別面談
予算措置なし	健康づくりの働きかけ（口腔ケア）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
職場環境の整備																			
予算措置なし	1	新規	健診事業における事業主との連携	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者, 基準該当者, その他	3	ケ, シ	-	ア, イ	-	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・健診事業全般を事業主と連携して円滑に実施する ・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い ・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する	
													事業主・健保組合連名による通知状況(【実績値】 - 【目標値】 平成30年度：-% 令和元年度：8% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)高リスク者への受診勧奨						

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	2	既存	医療費のお知らせ	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	ス	-	468	-	-	-	-	・医療費のお知らせを毎月、社内で事業所(被保険者あて)に送付する(被扶養者分も掲載) ・任意継続者は、自宅あてに郵送する ・様式に、ジェネリックやホームページ等の情報を掲載して周知させる	・医療費や保険給付内容の確認により、医療費の適正化につなげる ・被保険者が確認することが前提となるため、その促進に努める	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い
													配布状況(【実績値】100% 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)1ヶ月平均、配布数/被保険者数							
5	既存	機関誌発行	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者	1	ス	-	ス	-	2,899	-	-	-	-	・『健保だより』を年4回(4月、8月、10月、12月)配布する ・ホームページにバックナンバーを掲載する	・組合活動の周知と、健康保険制度・健康情報の提供 ・健診受診率の向上と健診結果活用の啓蒙	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												配布状況(【実績値】100% 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)1回平均、配布数/被保険者数								
2	既存	健康診断に関するパンフレットの配布	全て	男女	18～(上限なし)	基準該当者	1	ス	-	ス	-	243	-	-	-	-	・生活習慣病予防健診・人間ドックの健診結果を受付けした都度、受診者あてに送付する ・送付状として、専用のチラシ『健診結果をじっくり見てみよう!』を同封する ・パンフレットやチラシの内容は、毎年見直す	・健診結果の見方や活用の啓蒙 ・健診結果の受け取り洩れの防止	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												配布状況(【実績値】100% 【目標値】 平成30年度：80% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)年間、配布数/受診者数(フレッシュパートナー除く)								
2	既存	定期健康診断受診票の配布	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ス	-	ス	-	68	-	-	-	-	・健康診断の所定様式がない病院等で定期健診を実施する店所に配布する ・受診後は、いったん健康保険組合に回収し、チラシを添えて本人控えを返送する	・定期健康診断を円滑に実施できるようにする ・検査項目の洩れがないようにする ・本人控えにチラシを同封し、結果の活用を啓蒙する	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												配布状況(【実績値】100% 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)年間、配布数/対象店所								
5	既存	健康保険制度に関するリーフレットの配布	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者, 被扶養者	1	ス	-	ス	-	21	-	-	-	-	・『健康保険なるほどガイド』を被保険者証交付時に同封する(新規資格取得者全員) ・制度変更等をふまえて、掲載内容を見直す	・健康保険証取得者に健康保険制度を周知させ、正しい制度利用と保険給付の適正化等につなげる	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
												配布状況(【実績値】100% 【目標値】 平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)年間、配布数/対象者数(新規資格取得者、被保険者・被扶養者)								

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画												
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度					
アウトプット指標												アウトカム指標													
5	既存	健康保険制度に関する冊子の配布	全て	男女	18～25	被保険者	3	ス	-	ス	-	35	-	-	-	-	-	・『社会保険の知識』を健康保険証と同時に配布する(毎年3月、新卒新入社員全員)	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・新卒正社員に健康保険制度を周知し、正しい制度利用と保険給付の適正化等につなげる	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
配布状況(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)年間、配布数/対象者数(次年度の新卒新入社員)												・『社会保険の知識』の利用が前提となるが、その状況を把握できないため(アウトカムは設定されていません)													
5	既存	ホームページの公開	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	ス	-	750	-	-	-	-	-	・健康保険制度と健康診断に関する手続き、その他被保険者に有効な情報を掲載し随時更新する ・各種媒体を通じて、ホームページの活用を促す	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・健康保険制度や健康診断に関する手続きの案内 ・健康情報の提供 ・組合活動の周知	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
ページ更新回数(【実績値】15回 【目標値】平成30年度:15回 令和元年度:15回 令和2年度:15回 令和3年度:15回 令和4年度:15回 令和5年度:15回)年間、ページ内容の改修の他、各種申請書の変更、『健保からのお知らせ』等を含む												・個別の効果を測り辛いため(アウトカムは設定されていません)													

個別の事業

特定健康診査事業	3	既存	特定健診	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ス	-	ア,ス	-	14,674	-	-	-	-	・被保険者は、生活習慣病予防健診・人間ドック(日帰り)と併せて実施する ・被扶養者の内配偶者は、被保険者と同様に実施する ・その他の被扶養者は、契約医療機関で実施する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・受診率の向上 ・健康維持・増進	・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する
健診案内状況(【実績値】6回 【目標値】平成30年度:6回 令和元年度:6回 令和2年度:6回 令和3年度:6回 令和4年度:6回 令和5年度:6回)年間(未受診追跡含む)												受診率(【実績値】80.2% 【目標値】平成30年度:80.1% 令和元年度:82.1% 令和2年度:84.1% 令和3年度:86.1% 令和4年度:88.1% 令和5年度:90.1%)本人・家族													

特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	コ,ス	-	ア,ス	-	866	-	-	-	-	・生活習慣病予防健診・人間ドック(日帰り)を受診した健診機関に委託して実施する ・事前の制度周知により、実施を促進する ・実施可能な健診機関を増やす ・専門機関への委託により、健診機関以外での実施も可能にする	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・特定保健指導の実施率を上げ、対象者を減らす	・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する
特定保健指導利用案内状況(【実績値】1回 【目標値】平成30年度:6回 令和元年度:12回 令和2年度:12回 令和3年度:12回 令和4年度:12回 令和5年度:12回)年間												特定保健指導実施率(【実績値】1.3% 【目標値】平成30年度:6.2% 令和元年度:16.1% 令和2年度:26.1% 令和3年度:36.1% 令和4年度:46.1% 令和5年度:56.1%)本人・家族													

保健指導宣伝	4	既存	重症化予防(糖尿病)	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ,ク	対象者の抽出条件 ⇒ HbA1c:6.5以上、血糖値130以上	ア,イ,ケ	-	-	-	-	-	-	・健診結果に応じて、対象者に文書指導と関連資料(パンフレット)を送付する ・対象者を把握して、医療機関の受診状況等を追跡管理し、適切なフォローをする ・従来の糖尿病に加え、高血圧にも着目する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・「糖尿病」に着目し、行動変容や早期治療を促すための保健指導を実施する	・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する
文書指導通知状況(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:100% 令和元年度:100% 令和2年度:100% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)年間												受診勧奨受者率(【実績値】4.7% 【目標値】平成30年度:4% 令和元年度:4% 令和2年度:4% 令和3年度:3% 令和4年度:3% 令和5年度:3%)HbA1c:6.5以上、血糖値130以上													
4	既存	重症化予防(高血圧)	全て	男性	0～74	基準該当者	1	イ,ク	対象者の抽出条件 ⇒ 収縮期血圧:160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上	ア,イ,ケ	-	-	-	-	-	-	-	・「高血圧症」に着目し、行動変容や早期治療を促すための保健指導を実施する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する	
文書指導通知状況(【実績値】100% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:100% 令和4年度:100% 令和5年度:100%)												Ⅱ度・Ⅲ度該当者率(【実績値】4.8% 【目標値】平成30年度:-% 令和元年度:-% 令和2年度:-% 令和3年度:3% 令和4年度:3% 令和5年度:3%)高血圧⇒収縮期血圧160mmHg以上または拡張期血圧100mmHg以上													

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
2	既存	禁煙対策	全て	男女	20～74	基準該当者	1	エ,ク,ケ	・特定健診問診票データを参照して対象者(喫煙者)を調べ、禁煙啓蒙のための資料を配布する ・禁煙補助薬とスマホアプリを活用した専属指導員によるオンライン指導を実施する	ケ	・スマホアプリを活用したオンライン指導は、健保連組合運営サポート事業の禁煙サポート事業に参加する	・健診結果受け付け時に、リーフレット(受動喫煙関連)を送付する ・ホームページに、関連情報を掲載する	前年通り継続	前年通り継続	・従来の取り組みに加え、健保連組合運営サポート事業の禁煙サポート事業に参加する	未定	未定	・喫煙による健康被害の防止	・喫煙者は、男性より女性が増加している
リーフレット配布状況【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%年間												喫煙率【実績値】26.4% 【目標値】平成30年度：25% 令和元年度：23% 令和2年度：21% 令和3年度：19% 令和4年度：17% 令和5年度：15%特定健診問診回答⇒1.はい							
参加率【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：5% 令和4年度：5% 令和5年度：5%-																			
7	既存	ジェネリック差額通知	全て	男女	20～74	基準該当者	1	キ	-	ウ	-	・『ジェネリック差額通知』を年2回(5月、11月)送付する ・上記通知の際、関連リーフレット(ジェネリック希望シール付)を同封する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・ジェネリック医薬品の使用促進	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
通知状況【実績値】100% 【目標値】平成30年度：91% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%1回平均人数												ジェネリック利用率【実績値】72.5% 【目標値】平成30年度：75% 令和元年度：-% 令和2年度：77% 令和3年度：79% 令和4年度：81% 令和5年度：83%年間通知後平均(数量ベース)							
5	既存	育児全書の配布	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ス	-	ス	-	・『はじめてママ&パパの0～6才病気とホームケア』を送付する(第一子出産時) ・送付物は、必要に応じて見直す	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	育児情報の提供	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
送付状況【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%年間												送付物の活用や満足度などが指標となるが、その状況を把握できないため(アウトカムは設定されていません)							
2	既存	前期高齢者対策	全て	男女	50～74	基準該当者	1	ク	-	ス	-	・健康長寿に関する情報提供のため、適切な資料を選定する ・対象者は、60歳以上の被保険者・被扶養者とし、年1回配布する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	高齢者の健診促進と疾病予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
配布状況【実績値】- 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%年間												送付物の活用や満足度などが指標となるが、その状況を把握できないため(アウトカムは設定されていません)							
疾病予防	3	既存	人間ドック(日帰り)	全て	男女	45～74	基準該当者	3	ウ,ケ	-	ア,ス	-	・45歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、原則5月から翌1月の間に実施する ・事業主の法定健診を兼ねる	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い ・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する
	健診案内状況【実績値】6回 【目標値】平成30年度：6回 令和元年度：6回 令和2年度：6回 令和3年度：6回 令和4年度：6回 令和5年度：6回年間(未受診追跡含む)												受診率【実績値】84.1% 【目標値】平成30年度：85% 令和元年度：87% 令和2年度：89% 令和3年度：91% 令和4年度：93% 令和5年度：95%本人・家族						
	3	既存	生活習慣病予防健診	全て	男女	35～74	基準該当者	3	ウ,ケ	-	ア,ス	-	・35歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、原則5月から翌1月の間に実施する ・事業主の法定健診を兼ねる	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い ・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する
	健診案内状況【実績値】6回 【目標値】平成30年度：6回 令和元年度：6回 令和2年度：6回 令和3年度：6回 令和4年度：6回 令和5年度：6回年間(未受診追跡含む)												受診率【実績値】80.8% 【目標値】平成30年度：85% 令和元年度：87% 令和2年度：89% 令和3年度：91% 令和4年度：93% 令和5年度：95%本人・家族						
3	既存	乳がん・子宮がん検診	全て	女性	35～74	基準該当者	3	ウ,ケ	-	ア,ス	-	・35歳以上の被保険者・被扶養者(配偶者)を対象に、原則5月から翌1月の間に実施する	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い	
健診案内状況【実績値】6回 【目標値】平成30年度：6回 令和元年度：6回 令和2年度：6回 令和3年度：6回 令和4年度：6回 令和5年度：6回年間												受診率【実績値】59.6% 【目標値】平成30年度：75% 令和元年度：70% 令和2年度：75% 令和3年度：80% 令和4年度：85% 令和5年度：90%本人・家族、婦人科検査受診者数/女性受診者数(生活習慣病予防健診・人間ドック)							

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
3	既存	健診結果の説明	全て	男女	0～74	加入者全員	3	オ	健診当日、必要に応じて健診機関の医師・保健師が実施	キ	健診機関に委託	-	-	-	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・加入者への分かりやすい情報提供	・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い ・生活習慣病は、糖尿病、高血圧症が特に高い ・「受診勧奨基準値以上」で、生活習慣病に関するレセプトがない者が、多数存在する	
健診案内状況(【実績値】6回 【目標値】平成30年度：-回 令和元年度：-回 令和2年度：-回 令和3年度：6回 令和4年度：6回 令和5年度：6回)-												委託先の状況や効果を把握できないため(アウトカムは設定されていません)								
4	既存	保健指導通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ,ク	-	ス	-	-	-	-	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	前年通り継続	・健診結果が保健指導基準値以上の者に、適切な保健指導と情報提供をする ・一人当たり医療費は、新生物、呼吸器系疾患が特に高い
文書指導通知状況(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)年間												高リスク者率(【実績値】31.9% 【目標値】平成30年度：30% 令和元年度：28% 令和2年度：26% 令和3年度：24% 令和4年度：22% 令和5年度：20%)要治療、要精密検査								
予算措置なし	5,6	既存	健康セミナー・個別面談	一部の事業所	男女	0(上限なし)	基準該当者	1	オ,ク	-	ア,ウ	-	-	-	前年通り継続	前年通り継続	未定	未定	未定	・加入者の生活習慣病予防と健康保持増進 該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
	参加状況(【実績値】47% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)年間												対象事業所の生活習慣の改善率(【実績値】65.2% 【目標値】平成30年度：70% 令和元年度：72% 令和2年度：74% 令和3年度：76% 令和4年度：78% 令和5年度：80%)特定健診問診回答⇒2.改善するつもり～							
	5	新規	健康づくりの働きかけ(口腔ケア)	一部の事業所	男女	0～74	被保険者	1	ア,ク	30日間口腔ケアを実践して変化を自分で確認する	エ,ケ	健保連高知連合会主催の歯科保健事業(お口ケア30daystoトライアル)に参加	-	-	-	健保連高知連合会主催の歯科保健事業(お口ケア30daystoトライアル)に参加	未定	未定	未定	・口の健康習慣の定着と自己管理できる力を身につける ・意識をすれば改善できるという「気づき」を体験する 該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
参加率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：-% 令和元年度：-% 令和2年度：-% 令和3年度：10% 令和4年度：10% 令和5年度：10%)-												健康習慣のスタートを事業目標とするため(アウトカムは設定されていません)								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。
注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業
注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他